清水道中金比羅草鞋 八

南部紀行

逍遥文庫
文庫6
1004
8

文庫6
1004
8

方言　終行　金の草鞋

奥州南部宇曽利山へ往古より硫黄あり之不時に焼る事あり世人
焼山と称ス又土俗に於曽禮山と称ス開基慈覚大師千体の石地蔵を造
中尊の長五尺八寸其他小仏小人を彫刻取今僅に存せり
なり圓空法師千体の像を修補し其高貫竹内與兵衛と称する唐
銅の弥陀大日薬師の三像を安置一堂塔を建て高大花好中に満山乃
光景奇樹怪石比類なき霊場なり嶺上に塞の河原三途川奪衣の山
其余一百三十六地獄あり仕編に嗣て順道なるべ當山参詣の記行
をなるべ遍土遠幽の地なるべ齟齬せしとも多くは略一二の大略を
あらはすのみ

十返舎一九題

カラダ山
本尊地蔵堂
舞漏觀

利山多
圓通寺
境内
之圖
山中の
ひぬきの山
つるきの山
骨堂
本堂
食堂
古紀の山

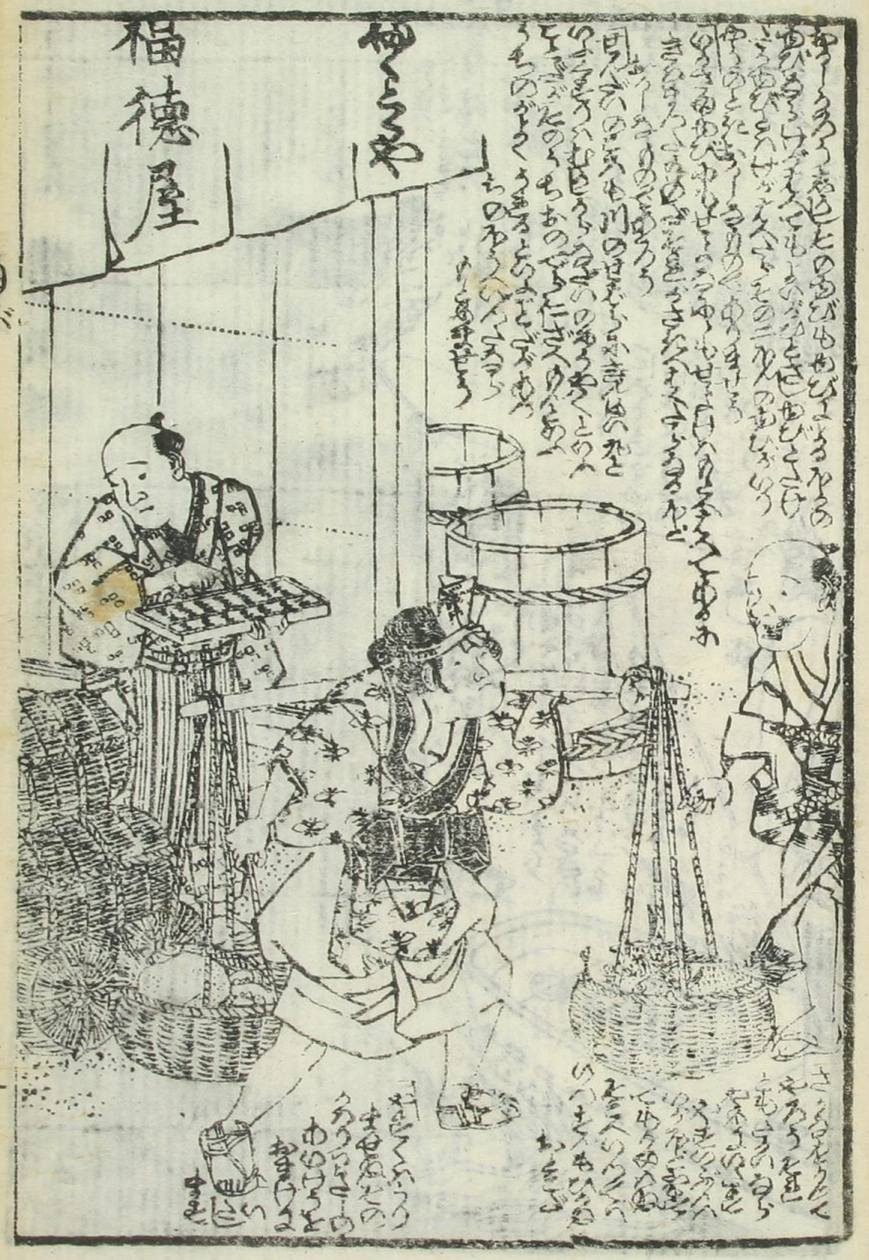
九硫黄ある山々火煙起温泉涌ゆえおのづから地獄とのゝ名ある處
あり殊ゝ肥前の温泉が山獄と當山とを見る人驚歎せざるのこと
なし就中當山修羅と名づくる所ハ地面ゝ石ゝ凡長さ二十五六
丈幅五六丈石面血の色の如く劔の山ハ石悉く火ヒカ鋒の如しこの餘
のろくの地獄ハ多く其色狀ふるゝ名づくるの傳ハ慈覚大師護摩
執行のとき莚席をく槲葉をつゝ石上ゝ數其石今ハ方二丈斗薄く
裂ゝ幅一寸長二寸半なり槲葉の如ゆゝ文理ゆゝ又當山ゝ異鳥有
毎四月上旬ゝ七月中旬まゝ月清く閑静なる夜鳴聲佛法僧と
いつがごとし日光ゝ高野ゝも此鳥ゆゝ有ゝ海内希有の霊
山なり

家傳
葉酒

納涼
萩川信一

落伏子

象潟略圖
干満寺に俤佛
能因法師


福徳屋

久保田
現金掛値なし

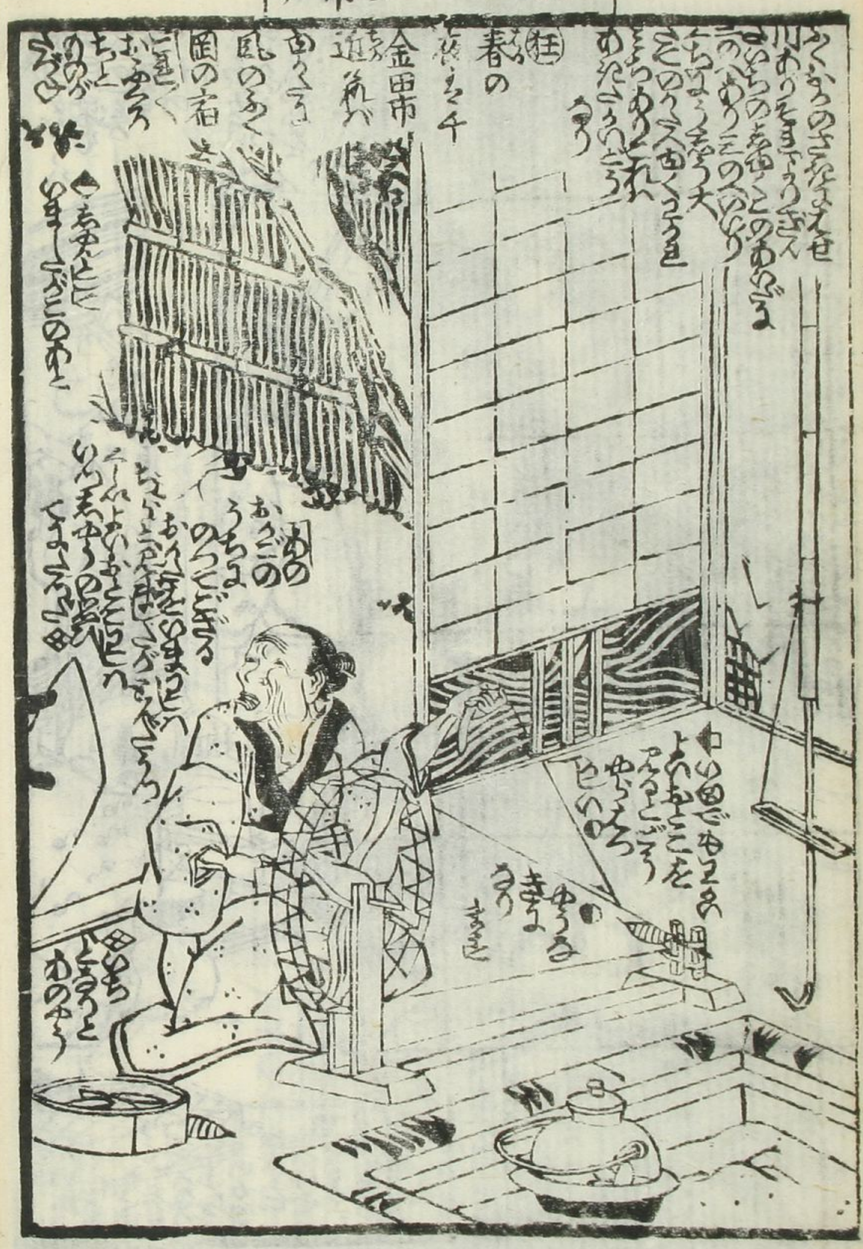
豐年の初田の町の

上々諸白

酒田屋

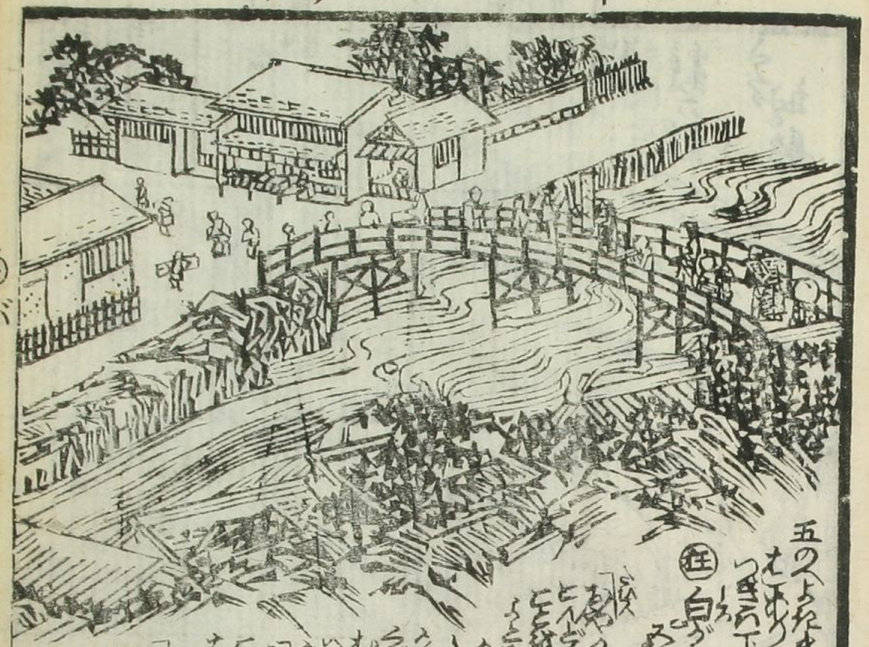
一九作　國信画

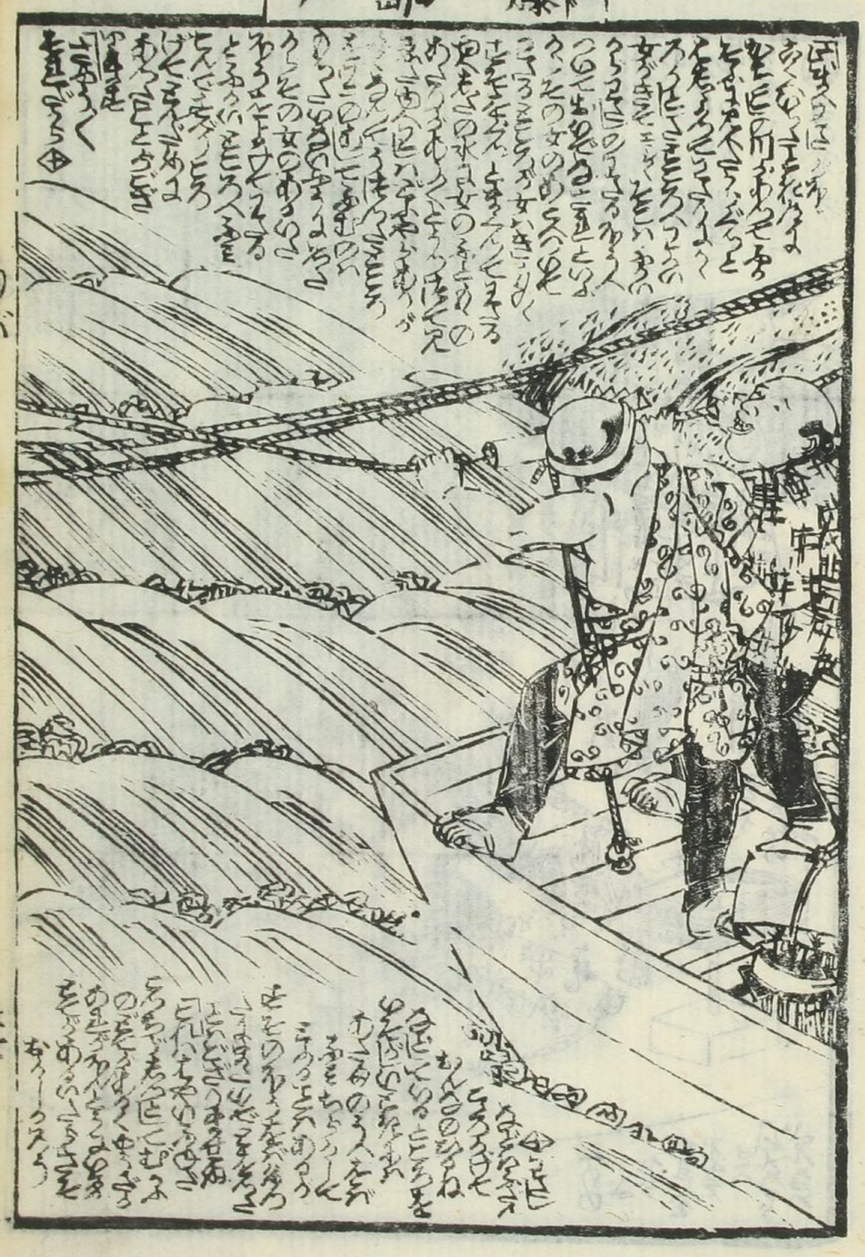
名産
乾物類品々
福



麻水平

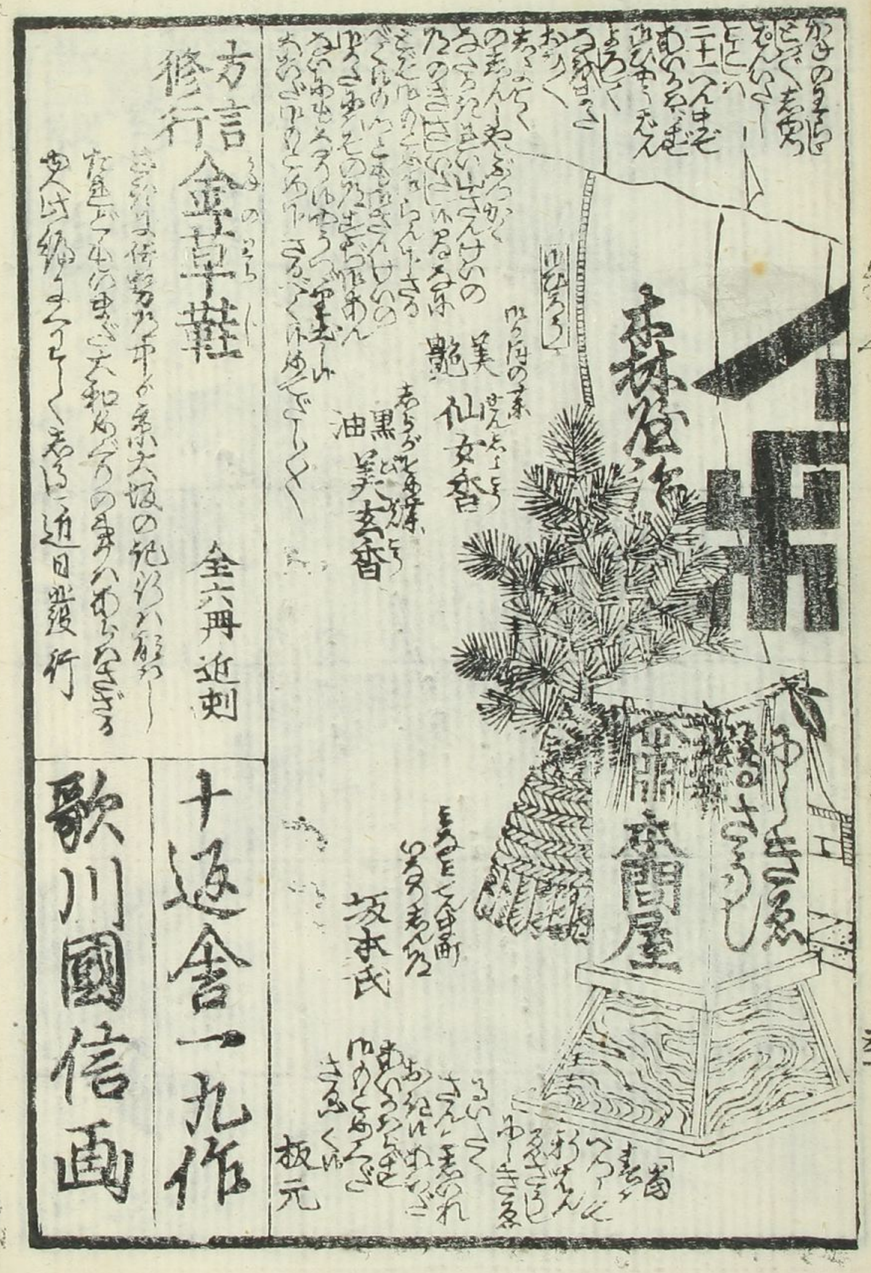
五の之戸り





大畑道
新滝の図
者宿寮
花厳湯
老堂
女人堂
田名部乃

常燈



方言金平莊

全六冊近刻

修行金平莊

十返舍一九作

歌川國信画

早稲田大学図書館
011688991872